

「大人になって良かった」

—初稿—

2026/09/14

しのめ ののの

〈人物表〉

内田 歩

(14)

中学3年生

1.

中学校・運動場（昼）

内田歩（14）の激しい息遣い。

歩、ヘロヘロになりながらトラックを走っている。

3年3組の生徒たち、男女ともに全員まったりと休憩している。

歩、息も絶え絶えにゴール。その場に倒れ込む。

クラスメイトたち、遠巻きに一瞥するだけ。

笑いながら囁き合っている生徒もいる。

体育教師、生徒たちに声を掛ける。

教師 「じゃあ今日から体育祭に向けて特訓な。学年種目は大縄跳びです。これで最後に大逆転もあるから、頑張れよ」

歩、倒れたまま茫然としている。

生徒たち、こそこそと話す。

生徒 「内田いるのに勝てんの？」

生徒 「去年も一昨年も、内田くんのクラスが最下位じゃなかったっけ？」

生徒 「終わったわー」

歩、急に吐き気がこみあげてきて、えづく。

2.

中学校・運動場（昼）

生徒たち、大縄跳びの練習をしている。声を出してカウントしながら、一斉に縄を跳んでいる。

一同 「1、2、3、4、5、6……」

縄が止まる。生徒たち、足元を見る。

歩の足が縄に引っ掛かっている。

歩、慌てて縄を跨ぎ、怯えた表情。

ため息が広がる。

生徒 「またかぁ……」

生徒 「10回もいかないの、やばすぎるって」

生徒 「てか女子より跳べないことある？」

縄が再度回り始める。

生徒たち、カウントしながら跳ぶ。

一同 「1、2、3、4……」

縄が止まる。歩の足が縄に引っ掛かっている。

ため息や舌打ちが広がる。

3.

中学校・運動場（昼）

別日。運動場の隅に大縄が転がっている。

大縄跳びの練習の合間。

生徒たち、ドッジボールをしている。

歩のチームは、歩だけがコートに残っている。

運動部らしい男子3人が、ヘラヘラ笑いながら剛速球で歩を狙い続けている。

歩、怯えながらひたすらボールを避け続けている。

生徒 「全然当たないんだけど」

生徒 「もっとちゃんと狙えって」

歩のチームメイト、コートの外から呆れたように声を掛ける。

生徒 「内田ボール取れって」

生徒 「取るか当たるかしないと終わらないよ」

その時、剛速球が歩の顔面に直撃。

歩、顔を押しえてしゃがみこむ。

生徒 「顔面だからセーフじゃね？」

生徒 「体当てないと」

しゃがんで悶絶する歩の背中に球が当てられる。

生徒 「終了〜」

ヘラヘラとハイタッチする男子たち。

歩を遠巻きに眺めてコソコソ喋っている女子たち。

俯いて顔を押しえている歩。

両手の隙間から、涙目が覗いている。

4.

中学校・運動場（昼）

生徒たち、大縄跳びの練習をしている。

一同 「1、2、3、4、5……」

縄が止まる。ため息が広がる。

歩、慌てて足元を見る。引っ掛かっていない。

生徒 「また内田？」

歩 「え、いや、ちが……」

一人の生徒が慌てて縄を跨ぎ、素知らぬ顔をする。
歩、それに気づくも咄嗟に声を出せない。

生徒 「もう絶対勝てないじゃん」

生徒 「やる意味ないよ。今日はもうやめよ」

生徒たち、撒収し始める。

歩、茫然と立ち尽くし、俯く。

どこからともなく、体育教師が近づいて来る。

教師 「なあ、悔しいよな？ 見返してみろよ」

と、軽く肩を叩き、去る。

顔を上げた歩、教師の背中を睨みつけている。

5. 住宅街・道路（早朝）

歩、ランニングしている。

息は荒く、不格好なフォーム。

× × ×

道路脇の電柱に手をつき、えづいている。

6. 住宅街・自宅前（夜）

歩、息も荒く縄跳びをしている。

縄が足に引つ掛かる。再度跳び始める。

数回跳ぶうちにバテてくる。

縄が足に絡まり、こける。

地に伏せたまま息を整える。

おもむろに立ち上がる。膝に血が滲んでいる。

歩、再三跳び始める。

7. 住宅街・道路（早朝）

歩、ランニングしている。

フォームが少し綺麗になっている。

8. 住宅街・自宅前（夜）

歩、ひたすら縄跳びをしている。

止まることなく跳び続けている。

9. 中学校・体育館（昼）

生徒たち、トラックを走っている。
最後尾の歩、クラスメイトから少し離れた場所をなんとなく走っている。
既にゴールしている生徒と体育教師、少し驚いた表情で歩を見ている。
生徒たちがゴール。まもなくして、歩もゴール。
歩、倒れ込みそうになるが踏みとどまる。
体育教師、関心した様子で近づいて来る。
教師 「内田。速くなったな」
と、歩の背中を叩く。
歩、堅い表情。

10. 中学校・運動場（昼）

生徒たち、大縄跳びの練習をしている。
一同 「3、4、5、6、7、8、9、10……」
生徒たち、跳びながら驚いた表情。
歩、必死に跳んでいる。
一同 「11、12、13、14、15……」
縄が止まる。
生徒たち、慌てて足元を見る。
生徒 「あ……私だ。ごめん」
生徒たち、戸惑った様子で「いや別に……」、「大丈夫」などと口走る。歩を盗み見ている生徒もいる。
歩、荒く息を吐きながら手で汗を拭いている。
× × ×
再度、大縄が回っている。
一同 「27、28、29、30……」
縄が止まる。
生徒たち、足元を見る。
それから、黙って内田を見る。
歩 「……ごめん」
生徒たち、顔を見合わせる。
生徒 「……どうしたん」

歩、何を聞かれたか分かっていない様子。

生徒 「すごいじゃん」

生徒 「なんかあった？」

歩 「あ、いや、まあ……。自主練とか……」

生徒たち、賑やかになる。

生徒 「……えら」

生徒 「やばいんだけど」

生徒 「すげー」

生徒 「やるな、お前」

歩、堅い表情でおずおずと頭を下げる。

11. 中学校・校門（昼）

体育祭本番。

校門に「南中学校 体育祭」と掲げられたモール。

歩が嘔吐する声。

12. 運動場・男子トイレ（昼）

歩、個室の便器に向かって盛大に吐いている。

外からは、競技を実況する声や賑やかな声援などが聞こえる。

歩、少し落ち着いて顔を上げる。

涙目だが、鋭い目つき。

13. 中学校・運動場（昼）

運動場のあちこちで、いくつものクラスが大縄跳びをしている。

どのクラスも大声で回数をカウントしている。

3年2組の生徒たち「35、36、37……」

2組の縄が止まる。

残念そうな声をあげてその場に座る。

3年1組の生徒たち「41、42、43……」

1組の縄が止まる。残念そうにその場に座る。

残っているクラスが、4組と、歩の3組だけになる。

3年3組の生徒たち「46、47、48……」

数える声がどんどん大きくなる。

歩、必死の形相で跳び続けている。

3年3組の生徒たち「49、50!」

4組の縄が止まる。

3年3組の生徒たち「51、52、53……」

跳びながら、優勝に気づいた生徒たちがどよめく。

実況放送「あ、今4組が50回で止まりました。という訳で、優

勝は3組です!」

3組の縄が止まり、一同大歓声。

飛び跳ねて抱き合っている。

歩、ヘロヘロになってその場に倒れかける。

そばのクラスメイトが体を支える。

生徒「内田すげえ、マジですげえよ!」

体育教師も駆け寄ってくる。

教師「よく頑張った」

歩「う、うう……」

歩、ボロボロと泣き始める。

歩「やった……。やっと……」

教師「やったなあ。ほんとに良かったなあ」

生徒や教師たち、貰い泣きしそうになっている。

歩「やっと……。これでやっと解放される……」

生徒や教師たち、困惑の表情。

歩、人目もはばからず、むせび泣く。

14. マンション・歩の部屋（朝）

内田歩（30）、はっと目を覚ます。

息は荒く、顔色が良くない。

上半身を起こし、部屋を見渡す。

質素な社会人の部屋。壁にはビジネススーツが掛かっており、床にはビジネスバッグが転がっている。

歩、少し表情を和らげる。

自身を落ち着けるように大きく息を吐き出す。

心底安堵した表情。

おわり